

令和6年度
下区ちくせん買い物支援対策検討業務
報告書

令和6年10月31日

有限会社サン・グロウ

1. 買い物難民の現状

「買い物難民」とは、特に高齢者や障害者など、買い物をすることが困難な人々を指します。具体的には、交通手段がない、身体的な制約がある、または地域に店舗が少ないなどの理由で、日常的な買い物が難しい状況にある人々を指します。このような人々は、必要な食品や日用品を手に入れることができず、生活に支障をきたすことがあります。最近では、買い物支援の取り組みが注目されています。

国においては、各省庁で少しずつ定義が違ってきます。

【農林水産省の定義】

農林水産省は買い物弱者を「高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方」と定義しています。

より具体的には、農林水産政策研究所による定義では以下の条件を満たす人を「食料品アクセス困難人口」（買い物難民）としています：

- ・65 歳以上の高齢者
- ・店舗まで 500m 以上の距離がある
- ・自動車の利用が困難

ここでの店舗には、食肉、鮮魚、野菜・果実小売業、百貨店、総合スーパー、食料品スーパー、コンビニエンスストアが含まれます

【経済産業省の定義】

経済産業省は買い物弱者を「流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々」と定義しています

【総務省の定義】

総務省は、買い物弱者を「食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々」と定義しています。この定義は経済産業省の定義と類似していますが、総務省は特に過疎地域や中山間地域における問題として捉えています。

【国土交通省の定義】

国土交通省は、買い物弱者を「高齢者を中心に、自家用車を持たない人や公共交通機関が不便な地域に住む人など、日常の買い物に不便を感じている人々」と定義しています。この定義は、交通アクセスの問題に焦点を当てています。

2. 中山間過疎地での買い物難民の発生の背景

過疎地における「買い物難民」問題の背景は以下のような要因が絡み合っています。

1. 人口減少と高齢化

・過疎地では、人口減少により商業圏が縮小し、小売店舗が次々に閉店。特に高齢者が多く、車を持たない住民も多いため、買い物へのアクセスが困難です。

2. 公共交通機関と交通インフラの不足

・過疎地では公共交通機関の利用者が少ないため、バスや電車の路線が縮小または廃止され、買い物や移動の手段がさらに制限されています。

3. 小売業の都市集中化と物流コストの増加

・小売業が都市部に集中し、過疎地では日用品を購入できる店舗が減少。さらに、過疎地への物流にはコストがかかり、十分な商品供給が難しくなっています。

4. 家族構成の変化と地域支援の減少

・核家族化や地域のつながりが弱まることで、買い物の代行や支援が受けにくくなっています。また、高齢者の一人暮らしが増え、家族や地域からのサポートが不足しています。

5. 人材と資金の不足

・過疎地の自治体やコミュニティには、買い物難民支援のための人材や資金が不足。支援体制がボランティアに頼る部分が多く、持続可能な支援が難しいのが現状です。

これらの要因により、過疎地での「買い物難民」問題は深刻化しており、移動販売や宅配サービス、地元企業との連携などの買い物支援策が求められています。

3. 美郷町および下区の現状について

(1) 美郷町の概況

美郷町は、宮崎県北部のほぼ中央に位置し、平成 18 年 1 月 1 日に旧南郷村、旧西郷村、旧北郷村が合併して誕生した町である。総面積は、県土の約 6% に当たる 448.72k m²であり、その約 92%が山林である。町の中央部には耳川が東西に貫流し、北部に五十鈴川、南部に小丸川が流れ、これらの河川の上流域に位置し、北は日之影町と延岡市、東は日向市と門川町、南は西都市と木城町、西は諸塚村と椎葉村と接している。

公共交通機関は、日向市と結ぶ路線バスと町内を走るコミュニティバス、乗合タクシーのみである。また、道路整備状況は、国道 3 路線、県道 4 路線があり各種産業の幹線道路として、日常生活においても極めて重要なものとなっている。

令和 5 年度の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の試算によると、美郷町の人口は、令和 32 年には 2,103 人になると推計され、令和 2 年の国勢調査の人口 4,826 人の半分以下にまで減少すると推計されています。

(2) 美郷町の消滅可能性

民間研究機関の「人口戦略会議」は、2023（令和 5）年 12 月に公表された新たな「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）に基づき、人口から見た全国の地方自治体の「持続可能性」について分析を行いました。美郷町は、消滅自治体の一つに指摘されています。

宮崎県「消滅可能性自治体」の一覧

自治体	若年女性人口 変化率	2020年総人口	2020年20-39歳 女性	2050年総人口	2050年20-39 歳女性	大分類	中分離
宮崎県 串間市	-52.80%	16,822	1,065	8,183	503	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 えびの市	-54.50%	17,638	1,142	8,876	520	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 高原町	-50.90%	8,639	562	4,797	276	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 国富町	-52.90%	18,398	1,392	10,940	656	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 諸塚村	-72.60%	1,486	84	676	23	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 椎葉村	-63.20%	2,503	125	1,063	46	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 美郷町	-65.30%	4,826	245	2,103	85	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 高千穂町	-57.50%	11,642	715	5,833	304	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大
宮崎県 日之影町	-55.90%	3,635	195	1,782	86	消滅可能性	自然減:小、社会 減:大

出生が少なく
死亡が多い

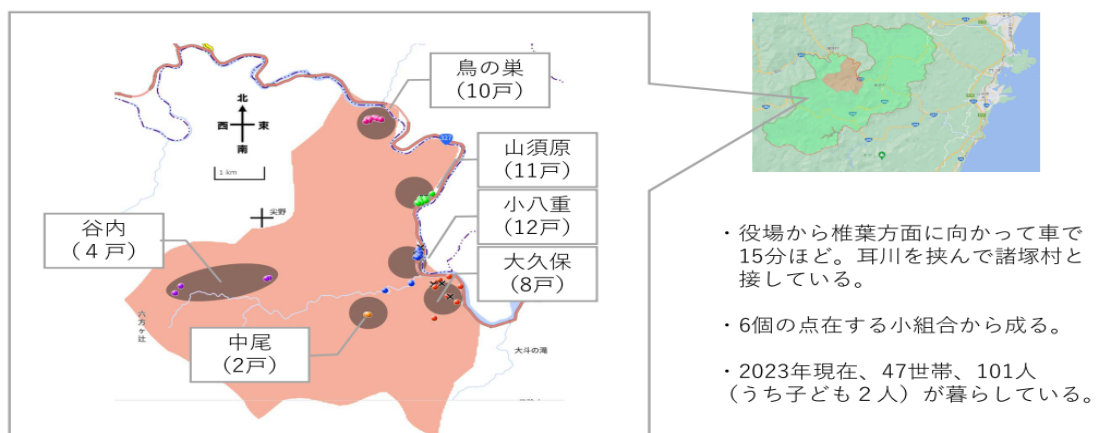
封鎖人口 移動仮定	減少率 20%未満	減少率 20～50%未満	減少率 50%以上
減少率 20%未満	A 自立持続可能性	D-① 自然減対策が必要	B-① 自然減対策が極めて必要
減少率 20～50%未満	D-② 社会減対策が必要 [15自治体]	D-③ 自然減対策が必要 社会減対策が必要 [2自治体]	B-② 自然減対策が極めて必要 社会減対策が必要
減少率 50%以上 人口流出 が激しい	C-① 社会減対策が極めて必要 [9自治体]	C-② 自然減対策が必要 社会減対策が極めて必要	C-③ 自然減対策が極めて必要 社会減対策が極めて必要

宮崎県で消滅可能性があるとしてされている市町村は、2024年4月時点で次の9市町村です。

串間市、えびの市、高原町、国富町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町。消滅可能性都市とは、2040年までに20～39歳の女性の数が半分以上減少し、消滅する可能性がある都市を指します。子どもを産める世代が一定割合を下回ると、人口が急激に減少して自治体経営が破綻する可能性があるという趣旨の指摘です。出典：宮崎県総合政策課資料より

(3) 美郷町下区の状況

美郷町では、第2期美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく人口減少対策の一つとして、令和2年度から町内24の行政区ごとに住民が主体となって定住促進の取り組みを定め実践する、美郷町地区別定住戦略事業「ちくせん」を実施しています。



下区は、役場から椎葉方面に向かって車で 15 分ほど。耳川を挟んで諸塚村と接している。6 個の点在する小組合から成り、2023 年現在、47 世帯、101 人（うち子ども 2 人）が暮らしています。

2018 年および 2023 年の下区の人口及び世帯数は以下のとおりです。

美郷町下区の現状

	2018年	2023年	増減率
人口総数	135	101	74.8%
子ども人口	6	2	33.3%
若年女性人口	6	4	66.7%
高齢者人口	60	53	88.3%
子ども比率	4.4%	2.0%	-2.5%
若年女性比率	4.0%	4.4%	-0.5%
高齢化率	44.4%	52.5%	8.0%
後期高齢化率	29.6%	35.6%	6.0%

集落名	世帯数
中尾・大久保集落	10
小八重集落	12
谷内集落	4
山須原集落	11
鳥の巣集落	10
	合計 47 世帯 (101 人)

地区内の 6 割以上が 60 代以上、何も対策をしなければ 40 年後には人口が 9 人まで減少すると推計されています。

6. 食料品アクセス困難の状況

(1) 美郷町における食料品アクセス困難の割合

農林水産政策研究所によると、美郷町のアクセス困難者の割合は、宮崎県の中でも困難の割合が4番目に高くなっている。

県市区町村名	2020年			
		割合	75歳以上	
				割合
宮崎県	84,982	24.7	62,099	35.0
宮崎市	25,849	23.4	17,886	32.8
都城市	11,576	22.8	8,624	33.0
延岡市	10,808	26.5	7,773	36.4
日南市	5,769	29.4	4,277	39.8
小林市	4,492	27.7	3,407	38.7
日向市	3,971	20.6	2,951	30.2
串間市	2,232	31.0	1,694	42.2
西都市	2,750	25.4	2,105	36.4
えびの市	2,247	30.1	1,691	41.6
三股町	1,627	22.4	1,248	34.2
高原町	1,052	29.2	814	41.8
国富町	1,629	23.8	1,256	35.8
綾町	579	22.7	421	32.1
高鍋町	1,534	23.6	1,133	34.6
新富町	1,048	19.9	838	32.0
西米良村	175	40.0	136	50.9
木城町	479	26.3	378	39.3
川南町	1,261	23.2	978	35.7
都農町	848	22.1	643	32.9
門川町	1,183	19.9	901	29.7
諸塚村	237	35.0	185	45.7
椎葉村	410	35.9	317	47.1
美郷町	829	33.3	623	43.5
高千穂町	1,443	28.8	1,091	39.9
日之影町	557	33.6	424	43.9
五ヶ瀬町	397	26.7	307	37.1

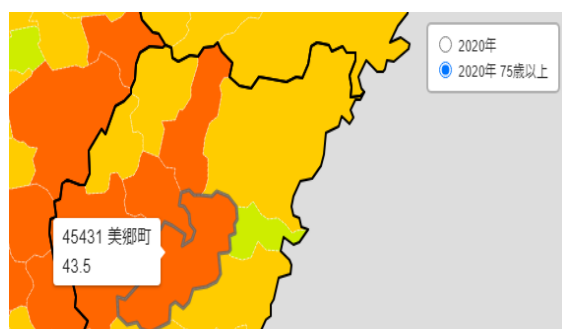
1) アクセス困難人口とは、店舗まで500m以上かつ自動車利用困難な65歳以上高齢者を指す。

2) 割合とは、それぞれ65歳以上人口、75歳以上人口に占める割合である。

3) 「令和2年国勢調査メッシュ統計」および店舗の所在地が分かるデータ等を用いて推計したものである。

4) 店舗は、食肉、鮮魚、果実・野菜小売業、百貨店、総合スーパー、食料品スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアである。

出典：
「農林水産政策研究所食料品アクセスマップ」
https://www.maff.go.jp/primaff/seika/fsc/faccess/a_map2020.html



(2) 各小組合からの各商店の位置関係図



<https://batchgeo.com/map/aba438e0fe4f71d168dd238d5fe6a0fc>

(3) 下区の各小組合からの近隣商店へのアクセス状況

○各小組合から各お店までの片道の距離と車での移動時間

各お店 小組合		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		早川商店	矢口商店	富井商店	Aコープ 西郷店	スーパーやまさ 東郷)	コープみやざき 財光寺店	山本商店 諸塚村)	Aコープ 諸塚店	ファミリーマート 諸塚店
										
1	鳥の巣	18分/8.5 km	29分/19.7 km	29分/19.9 km	32分/22.8 km	44分/34.2 km	60分/47.2 km	14分/5.4 km	16分/5.5 km	16分/5.6 km
2	山須原	3分/1.9 km	11分/9.8 km	11分/10.0 km	15分/12.9 km	27分/24.3 km	43分/37.3 km	6分/5.0 km	12分/9.7 km	12分/9.9 km
3	小八重	4分/2.7 km	10分/8.9 km	10分/9.1 km	14分/12.0 km	26分/23.4 km	42分/36.4 km	7分/5.8 km	12分/10.5 km	12分/10.7 km
4	大久保	13分/6.5 km	16分/9 km	16分/9.1 km	20分/12 km	31分/23.4 km	50分/36.4 km	16分/9.6 km	22分/14.3 km	22分/14.5 km
5	中尾	12分/5.7 km	18分/10.2 km	18分/10.4 km	22分/13.3 km	35分/24.7 km	50分/37.7 km	16分/8.7 km	20分/13.5 km	22分/13.6 km
6	谷内	30分/10 km	35分/14.7 km	35分/14.9 km	40分/17.8 km	50分/29.2 km	65分/42.2 km	35分/13.1 km	50分/13.8 km	50分/14.0 km

- 1. 各小組合からは早川商店が最も距離が近い。
- 2. 鳥の巣、山須原、小八重の小組合からは、美郷町内の商店より諸塚村の山本商店（諸塚村）、Aコープ諸塚店、ファミリーマート諸塚店への距離が近く便利なようである。
- 3. 中尾、谷内は、いずれの商店に行くにもかなり時間がかかる。
- 4. すべての商店が、各小組合から 500m 以上の距離がある。（農林水産省の距離基準）